

ワークショップ アジア主義・イスラミズム・インターナショナリズムの 再検証(Ⅰ)

開催日:2011年2月22日(火)・23日(水)

会場:愛知大学車道キャンパス 13階第3会議室

地下鉄桜通線「車道」下車、1番出口すぐの桜通車道交差点を北へ1分/駐車場なし

21世紀の東アジア地域国際秩序再編プロセスにおいて、20世紀イデオロギーのさまざまな痕跡への再検証は、不可避の課題であるといえます。とりわけ、1940年代日本軍国主義に吸収回収されてしまったかのような観もあり、戦後は反動のカテゴリーで安易に思想的切断を受けてきたアジア主義、30年代に戦略的にも機動的にも大規模な動きを見せたイスラームとアジア主義との邂逅への位置づけが、日本の大陸、東南アジア侵略の「道具」に矮小化され忘れられてしまい、日本社会に相変わらず健忘症シンドロームを再発させつづけて、理解されることの拒まれるようなイスラミズム、そして、 Kommunismus のソ連的、アジア的展開過程において20世紀そのものを覆っていた社会主義共産主義インターナショナリズムをめぐる諸問題の三相が複雑に織り成すプリズムは、まさに新たなアジア認識の中核をなす問題です。多極化していく世界秩序編成における21世紀の大国中国の位置づけも、そうした三相のプリズムにおいてこそ、その相貌はより明確になるのでしょうか。

今回のワークショップは、その第一弾として、大川周明の再評価をめぐる諸問題、上海におけるゾルゲや尾崎をめぐる諸問題、戦後日本人の中国像をめぐる諸問題を再検証していきます。

2月22日(火)

15:00~15:30 問題提起

鈴木規夫 愛知大学国際問題研究所所長

15:30~17:30 セッションⅠ

「アジア主義再検証

—大川周明を中心に—

報告 臼杵陽 日本女子大教授

討論 加藤哲郎 早稲田大学客員教授

懇親会(会費制)

2月23日(水)

10:00~12:00 セッションⅡ

「イスラミズム再検証

—大川とゾルゲとのあいだ—

問題整理と展開

12:00~13:00 休憩

13:00~15:00 セッションⅢ

「インターナショナリズム再検証

—上海のゾルゲ・尾崎秀実を中心に—

報告 加藤哲郎 早稲田大学客員教授

討論 臼杵陽 日本女子大教授

15:00~15:30 コーヒーブレイク

15:30~17:30 セッションⅣ

「アジア主義・イスラミズム・

インターナショナリズムと戦後日本の中国像」

報告 馬場公彦 岩波書店編集局副部長

討論 周星 愛知大学教授

木島史雄 愛知大学准教授

中尾充良 愛知大学准教授

17:30~18:00 総括セッション

【お申し込み方法】

本紙裏面の申込書に必要事項を明記し、下記宛先までFAX又はメールにてお申し込みください。電話でのお申し込みは受け付けておりませんので、ご了承ください。

お申し込み先:愛知大学国際問題研究所

Fax:(0561)36-8783

E-mail:kokken@ml.aichi-u.ac.jp

事前申込制になっておりますので、予め参加のお申し込みをお願いします。受付後、登録票はお送りしますので当日直接ご来場ください。

【お問い合わせ】 愛知大学国際問題研究所

〒470-0296 愛知県みよし市黒笹町清水370

Tel:(0561)36-5521 Fax:(0561)36-8783

E-mail:kokken@ml.aichi-u.ac.jp